

令和2年度北海道天塩高等学校 学校関係者評価

評価項目 4: そう思う(十分である) 3: ややそう思う(概ね十分である) 2: あまりそう思わない(やや不十分である) 1: 思わない(不十分である)

達成状況 A: 十分達成できた B: 概ね達成できた C: やや不十分である D: 不十分である

自己評価の適切さ A: 適切な評価である B: 概ね適切な評価である C: やや不適切な評価である D: 不適切な評価である

改善の方策の適切さ A: 適切である B: 概ね適切である C: やや不適切である D: 不適切である

項目	評価項目	生徒	保護者	教員	達成状況	改善に向けた取組	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ	
教科指導	1	学校ではわかりやすい授業を行い基礎学力の定着を図っている	3.1	2.9	3.2	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が身につけていない生徒への指導について工夫改善を図る。 ・幅広い学力層の生徒に対応する学習指導について工夫改善を図る。 ・授業と結びついた宿題を出すなどの家庭学習習慣を身に付けさせる指導について工夫改善を図る。 ・生徒及び教員の実態に応じた選択科目の設定について工夫改善を図る。 	A	B
	2	学校では個人に応じたきめ細かい学習指導を行っている	2.8	2.7	3.0	B			
	3	学校では生徒の自己学習が習慣化する指導を行っている	2.8	2.6	2.7	C			
	4	学校では生徒の興味関心や進路希望に応じた選択科目が設定されている	3.1	2.9	2.8	B			
	5	学校では主体的・対話的で深い学びの視点に立ち授業の工夫・改善に努めている	2.9	2.8	3.0	B			
意見感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・教員自らの評価が低い自己学習の習慣化の指導の改善についての重点的な取り組みを望む。 ・家庭学習を習慣化させるためICTの活用を含めたさらなる取り組みが必要ではないか。 ・自己学習の習慣化の指導について、達成状況の向上にむけて努力してほしい。 ・先生方と生徒の間での信頼関係があまり感じられない。 ・教員評価よりも生徒評価が低い項目について課題として取り組んでほしい。 ・最低でも一つは達成状況がAとなるように改善してほしい。 									
生徒指導	6	学校では挨拶などの基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる	3.2	3.1	2.9	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の確立について教職員全体の連携を深めHRを中心とし部活動を含めた学校生活全体で指導を充実させる。 ・生徒が主体となって活躍できる指導を継続し自己指導能力の育成に努める。 ・生徒の立場に立って考え、生徒や家庭との信頼関係に基づいた指導の工夫改善を図る。 	A	A
	7	学校では生徒会行事や部・局活動に意欲的に取り組ませ自己指導能力の育成に努めている	3.3	3.2	3.3	A			
	8	学校では生徒や家庭との連携を密にし信頼関係に基づいた生徒指導を行っている	2.8	2.7	2.9	B			
	9	学校ではいじめの根絶や問題行動の未然防止に向けた指導を行っている	3.1	2.9	3.2	B			
意見感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活での生徒たちの基本的な生活習慣はできていると思う。 ・達成状況の向上にむけて努力してほしい。 ・コロナ禍の中で対面活動等様々な制約がある中で仕方がない。 									
進路指導	10	学校では進路別ガイダンス等により生徒に必要な進路情報を提供している	3.3	3.0	3.0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路面談について科目選択の実施時期も考慮して実施時期を検討する。 ・教科担任会議や模擬試験後の指導の実施について検討する。 ・進路活動全体について進路指導部が主体となり全体の体制づくりの充実を図る。 	A	A
	11	学校では各種検査や面談等により進路希望実現に向けて適切に指導している	3.4	2.9	3.2	A			
	12	学校では望ましい職業観や勤労観を養い将来設計能力を育成している	3.2	2.8	2.8	B			
意見感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望実現に向けて取り組んでほしい。 ・達成状況の向上にむけて努力してほしい。 									

保健 安全 指導	13	学校では生徒が抱える様々な悩みに適切に対処している	2.7	2.6	3.0	B	・教員間の情報共有を強化して全体で指導する体制を構築する。 ・保健室経営計画の作成や保健便りの充実などにより、生徒の健康管理能力の育成に努める。	A	A
	14	学校では薬物乱用防止教室や避難訓練など生徒の健康や安全に関する指導を適切に行っている	3.5	3.3	3.6	A			
意見感想等 ・概ね改善に向けた取り組みで対応可能と考えるが、教員との関係について生徒が悩みを抱えるケースもあり、スクールカウンセラー等の外部の専門家も積極的に活用することも必要ではないか。 ・生徒たちの心のケアをしっかりとしてほしい。 ・達成状況の向上にむけて努力してほしい。									
学校 運営 など	15	学校では魅力のある学校づくりに取り組んでいる	2.6	2.7	3.0	B	・ICTの活用や高大連携事業など天塩町の支援を活かして教育活動の改善充実を図る。 ・生徒や保護者、地域の声を聞きながら魅力ある学校づくりを推進する。 ・教育活動の成果をより効果的にPRして理解を深めていただき地域から信頼される学校づくりを推進する。	A	B
	16	学校では各種通信やHP等を活用して教育成果を発信している	3.1	3.0	3.6	B			
	17	学校では父母と先生の会と連携・協力し、教育活動の充実を図っている	3.0	2.9	2.9	B			
	18	学校では中学校や地域との連携を図り教育力の向上に取り組んでいる	2.9	2.9	2.8	B			
	19	学校では生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりを行っている	2.8	2.7	2.9	B			
	20	本校で学校生活を送ることにより生徒は成長している	3.1	3.0	3.1	B			
意見感想等 ・魅力づくりを探求してほしい。 ・地域の唯一の高校として存続するためには、生徒に求められる環境づくりを探し特色ある教育施設づくりが求められる。(例：高校生が高齢者の見守り活動を展開、共助精神の育成) ・管理職の中学校訪問以外に、教員の魅力を伝えるような動きがあっても良いと考える。 ・ICT活用については、他の学校と同じような取り組みではなく本校独自の活用を考えてほしい。 ・改善に向けた取り組みは、現状で行われているものでなかなか結果に結びついていないのでさらなる取り組みが必要と考える。 ・最低でも一つは達成状況がAとなるように改善してほしい。									